# えんぱち「アグリ通信」

# 2025 年 11 月号 vol.68

【イチゴのうどんこ病・灰色かび病対策】 イチゴの灰色かび病は花や果実に発生しやすく、低温・多湿条件(15~20℃)で結露が続く環境で蔓延します。うどんこ病は逆に乾燥と昼夜の温度差が大きい時期(20~25℃)に発生しやすく、過繁茂や葉面湿度の変化が誘因となります。 発生を抑えるには、こまめな換気・湿度調整・古葉の除去などの物理的対策が基本です。特に結露防止と風通しの確保が重要です。

薬剤防除では、FRACコード

を意識したローテーションにより耐 性菌を抑制します。加えて、 省力化を図る方法として、く ん煙剤による一斉処理は散 布作業を大幅に軽減し、ハ ウス内の薬剤分布を均一に できます。また、「きつつきく ん」のダクト処理による「ボトキ ラー散布」は、微生物資材を効 率よく拡散し、天敵やミツバチ にもやさしい環境保全型防 除として注目されています。 薬剤ローテーション × 環境管理 × 省力技術の組み合わせで、 安定した収量確保を目指し ましょう。

## イチゴ・灰色かび病/うどんこ病に登録のある薬剤一覧(FRACコード別、当社監修)

FRAC	作用機構略称	農薬名	有効成分	うどんこ	灰色かび	備考	
1+10	MBC+MBI	ニマイバー水和	ジIトフェンカルブ+ベノミル ○ MBC耐性菌にも対応。		MBC耐性菌にも対応。		
2	DC	ロブ・ラール水和	<b>イ</b> ፓ°	_	0	灰色かび病専用。初期防除に。	
3	DMI	トリフミン水和 / ジェット	トリフルミソ゛ール	0	_	うどんこ病。ジェットで省力防除。	
		スコア顆粒	<b>ジフェノコナゾ−ル</b>	0	_	炭疽病にも有効。	
7	SDHI	アフェットFL	ላ° ንチオヒ° ラト"	0	0	両病害に有効。残効長く安定。	
		パ° レート* 20FL	t° ラジフルミド	0	0	残効長く安定。	
		カンタスDF	ホ゛スカリト゛	-	0	灰色かび病に強い。	
		カナメFL	^° \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	0	0	低温期にも安定。	
U13+9	AP様複合	ショウチノスケFL	フルチアニル+メハ°ニヒ°リム	0	0	低温期◎。2系統混合で耐性対策に有効。	
9	AP	フルピカFL / くん煙剤	λν. = F. ηγ	0	0	灰色かび・うどんこ病に有効。省力防除可。	
11	QoI	ストロヒ"-FL	クレソキシムメチル	0	-	予防的。炭疽病にも登録。	
		アミスター20FL	アゾキシストロビン	0	0	両病害登録。	
		スクレアFL	マンテ゛ストロヒ゛ン	0	-	うどんこ病・炭疽病登録。	
53+M07	ピリダジン+多点作用	フセキワイト゛FL	イミノクタシ゛ンアルヘ゛シル酸塩+フルピラジフロン	0	-	灰色かび病登録なし。耐性菌リスク低い。	
M44	多点作用	カリク゛リーン	炭酸水素カリウム	○ − 有機JAS対応。接触殺菌。		有機JAS対応。接触殺菌。	
		ルーモメイト水溶剤	炭酸水素ナトリウム	0	-	カリグリーンと同系統。	
BM02	Biological	ボトキラー水和	Bacillus subtilis QST713	0	0	天敵・ミツバチに安全。	



# 「施設栽培の冬期管理」

1.日時

11月20日(水) 13:30~ 三木本社 11月21日(木) 13:30~ 観音寺営業所

# 2. 勉強会内容

# ✓ くん煙剤の活用で大幅な労力削減!

くん煙剤を上手に活用することでハウス全体をムラなく防除でき 農薬散布による負担を大きく減らせます。労力削減と安定した病 害虫対策するコツをご紹介します。

# 

灰色かび病・うどんこ病の両方に高い効果。異なる作用機構の組み合わせで、耐性菌対策にも役立つ新しい殺菌剤です。

# ☑ 着果安定に「カモンビービーアロマ」

低温や曇天でミツバチの動きが鈍くなり、奇形果が増えると収量・収入に直結します。カモンビービーアロマでミツバチの飛びを促し、受粉を安定させましょう。

#### QRより申込・参加頂いた方には粗品プレゼント

勉強会へのエントリーはこちらから!→



TEL.(06) 6229-7343

日本曹達株式会社

大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-4-10



耐性菌にも強い2成分混合殺菌剤



作物の病害は見逃さぬ!















さまざまな種類の害虫に効く。 多品目を栽培している 生産者の方におすすめします。



ヨトウ類に活性の高い「アイザワイ系統」とコナガ・アオム シ・オオタバコガに活性の高い「クルスターキ系統」の両 方の殺虫活性を併せ持つハイブリッド型BT剤です

生拡大の防止対策ロイチモジヨトウ















〒761-0611 木田郡三木町田中 2582 TEL 087-898-1200

【観音寺営業所】 **〒768-0011** 観音寺市出作町北道 1062 TEL 0875-25-3086











# DJI農業用ドローン教習

## 当社ドローンスクールのメリット)

- 1. インストラクターがドローン防除のプロ
- 2. 測量や自動航行など様々な制御方法を学べる
- 3. 空散可能な農薬・肥料・資材などの情報を提供
- 4. 当社防除パートナーになり副収入確保も

	7	対面学	科教習	<b>オ</b> :	オンライン学科教習							
	所要	日数	教習料金	所要日数		教習料金						
	学科	実技	(税込)	学科	実技	(税込)						
新規(初心者)5日間	1 2日	3日	275,000	フリー	3⊟	203,500						
新規(経験者)4日間	2日	2日	220,000	フリー	2日	159,500						
更新	0.5日		33,000	フリー	-	26,400						

※注:学科オンライン教習…新規・更新とも学科教習について、ご 自宅や職場でパソコン受講(e-Learning)ができます。









# ゾーベックエンテクタ™SE

園芸用殺菌剤

予防効果が長く持続する。

2種の有効成分のはたらきにより、疫病、べと病への高い効果

その理由は

- ●耐雨性に優れる● 浸漆性(葉表から禁事)
- 浸達性(葉表から葉裏への移行)にも優れる
- ●新展開葉へも効果を発揮する

当社はゼンショーの委託栽培米サポーターとして業務用米栽培に取り組む 生産者を応援しています。麦作後に栽培可能で、食味は「コシヒカリ」に近い と言われる国産の専用品種で栽培頂きます。

#### 業務用米の需要

中食・外食等の業務用米の需要は今後も堅調な推移が期待される一方、現 状は家庭内食向け需要である高価格帯銘柄の作付比率が高く需要と生産 のミスマッチが起きています。需要が増えている業務用米の作付比率を増や すことで、新規需要の拡大を見込むことが可能です。

## 収量で収益増加

業務用米は比較的安価で取引されますが、収量でカバーできるためうまく活用できれば同等かそれ以上の収益を得ることが可能。また、中食・外食産業と複数年での契約栽培ができればさらに安定した収益を確保することが可能になります。業務用米生産に興味がある生産者の方は当社までご相談ください。







もし散布時に広葉雑草などが混在する場合は、 ラウンドアップマックスロードと混用がおすすめ!

枯れ残るイネ科雑草と併せて広葉雑草を枯らすことができます。

■オヒシバでの混用防除(例)







2018 社内試験(対象雑草オヒシバ)茨城県常総市7月27日処理 アフターエイド1 &/10a+ラウンドアップマックスロード500 成/10a 水量100 &/10a

■イタリアンライグラス(ネズミムギ)での混用防除(例)

11月 12月 1月 2月

秋冬期発生揃期(草丈20㎝以下)

アフターエイド1ℓ/10a+ ドアップマックスロード1ℓ/10a ラウン 水量100ℓ/10a

春期開花前伸長期(@メ゚ネシン๓ルメテ) アフターエイド10/10a+) シドアップマックスロード500mb/1( 水量1000/10a

98村豆多徒八

【本社営業所】 〒761-0611 木田郡三木町田中 2582 TEL 087-898-1200

【観音寺営業所】 〒768-0011 観音寺市出作町北道 1062 TEL 0875-25-3086















**喜多社長のフィロソフィ日記「縮んで、そして跳ぶ」**10月18日に全社会議を実施し、前四半期の振り返りと今四半期の見通し、そして重点活動の 共有を行った。第2四半期は従業員一人ひとりの努力の積み重ねにより、主要4科目すべてでMPを達成するという快挙となった。会社全体が同じ方向を 向き、目標を共有しながら取り組んだ成果であり、この結果に心から感謝している。

当社では四半期ごとにMP達成報奨を行っており、主要科目でMPを100%達成できたかどうかが重要な指標となっている。今回、ある部門が惜しくも99%という結果に終わった。振り返ってみると、差分を早い段階で共有し、「あと少しで逆転できるぞ、頑張れ!」という声かけができていれば、結果は変わっていたかもしれないと反省している。

当社では「数字で経営する」ことを徹底しているものの、今回の件では「数字をリアルタイムに把握し、現場にフィードバックをかける」という基本が十分に 実践できていなかったと感じている。経営は結果を見て反省するものではなく、日々の数字の変化を見て行動を修正していくものである。この点を今後の 大きな改善テーマとして取り組んでいきたい。

今回の全社会議では、恒例となったMP達成報奨の「報奨増額チャレンジ」も行った。残念ながら今回は増額とはならなかったが、会場は笑いと拍手に包まれ、明るい雰囲気の中でお互いの健闘を称え合う時間となった。また、水稲本田および麦赤カビ病防除で1,000haを超えた記念として、ドローン部門のメンバーを全員で色紙にメッセージを書いて表彰した。仲間の努力と挑戦を称える時間は本当に温かく、会社全体の一体感を感じられる瞬間だった。当社は下期は閑散期となってくる。この期間を、来期さらに大きく飛躍するための準備期間と位置づけたい。ジャンプをするときには、一度しっかりと縮こまる必要があるように、今は力を蓄え、次の成長に向けて助走をつける時期である。業務改善や体制整備、人材育成など、基盤を磨くことに全力で取り組んでいきたい。

一人ひとりのチャレンジや頑張りが称 賛され、互いを認め合える――そんな 会社を今後もつくっていきたい。そし て全員で成果を分かち合える喜びを 感じながら、次なる挑戦へと歩みを進 めていきたい。













【本社営業所】 〒761-0611 木田郡三木町田中 2582 TEL 087-898-1200 【観音寺営業所】 〒768-0011 観音寺市出作町北道 1062 TEL 0875-25-3086









